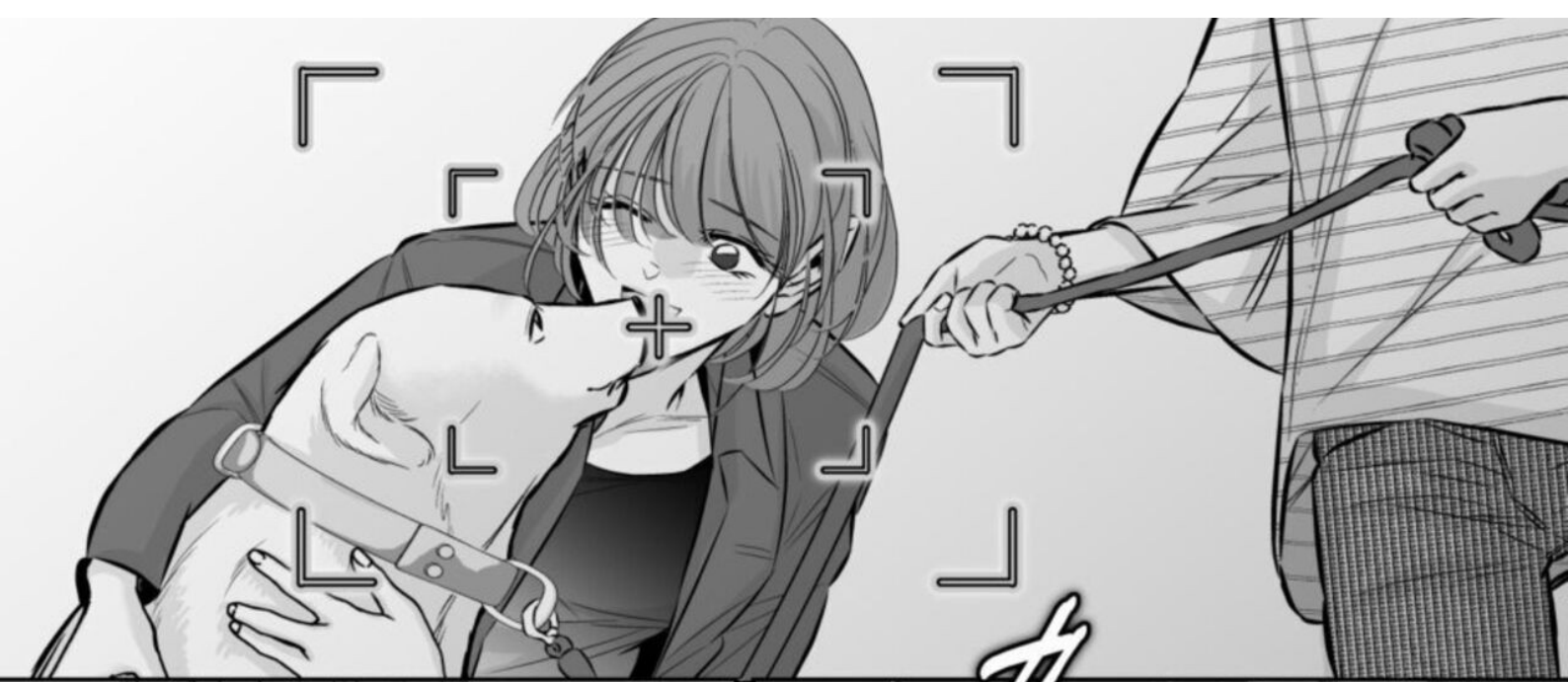




夫の弟

私が精子提供で
身籠ったあの夜
-完結編-







その話は
やめてくださいよ
お父さん!

ははっ



鞠子ちゃんの前で
恥ずかしいな...

あははは
辰彦さんって
おもしろいですね



そうだ
俺はただ

「この時も」
利用された
だけだったな...



♪



姉さん…

久しぶりね、明
アメリカの
大学生活はどう？

♪



明が
恋のキューピッド
だったのね

長男の
辰彦兄さんは
誰に対しても
誠実で優しい



辰彦兄さんね
大学生だった鞠子ちゃんが
中学生の明に
勉強を教えていた姿を見て
惚れたんだって



最初から
恵まれた
人生だから

人に優しく
できるんだろうな…

え？



長男は
当たり前のように
父親の会社も継ぐ

みんな
名門大学へ
入学し

地位や名誉
欲しいもの
全部手に入れて

良き夫
良き父親に
なるんだろう




上の兄弟たちは
有名な学習塾や
習い事にも
通わせてもらえて




…やっぱり

辰彦兄さんには
適わなかったな



今日たまたま
インターネットで
記事を見つけたんだけど

今って
精子バンクのサイトが
いくつもあるんだね



匿名のSNSで
経歴や運動技能を
証明できる相手から


精子だけ提供してもらおう
夫婦も増えてるんだって

そ
そんなものが
あるのか…

私も
初めて
知ったわ

鞠子は…
赤の他人の精子を…

もらうことを
希望して
いるのか…?



…ううん
辰彦さんにばかり
負担をかけてるから
私もネットで
出来る限りのことを
調べてただけよ

でも子供が
いなくなったら

辰彦さんと
2人きりで楽しく
生きていければ良いの！

それが
私たち夫婦にとって
一番大切でしょ？





…叔父さんの
大学病院は
行った？

この先一生
子供はできない
みたいなんだ



信頼できる専門医の元で
出来る限りのことは
検査し尽くしたし

父さん達の耳に入るから
親戚がいる病院には
行けない…



他の兄弟たちには
もうパートナーや
子供もいるし

本当は
家族の誰にも
言うつもりはなかった…





明の人生も
狂わせてしまうかも
しれないことは
分かっている…



問題があるのは
僕の精子だけだから
鞠子には
自分の産んだ子供を
抱かせてやりたい…

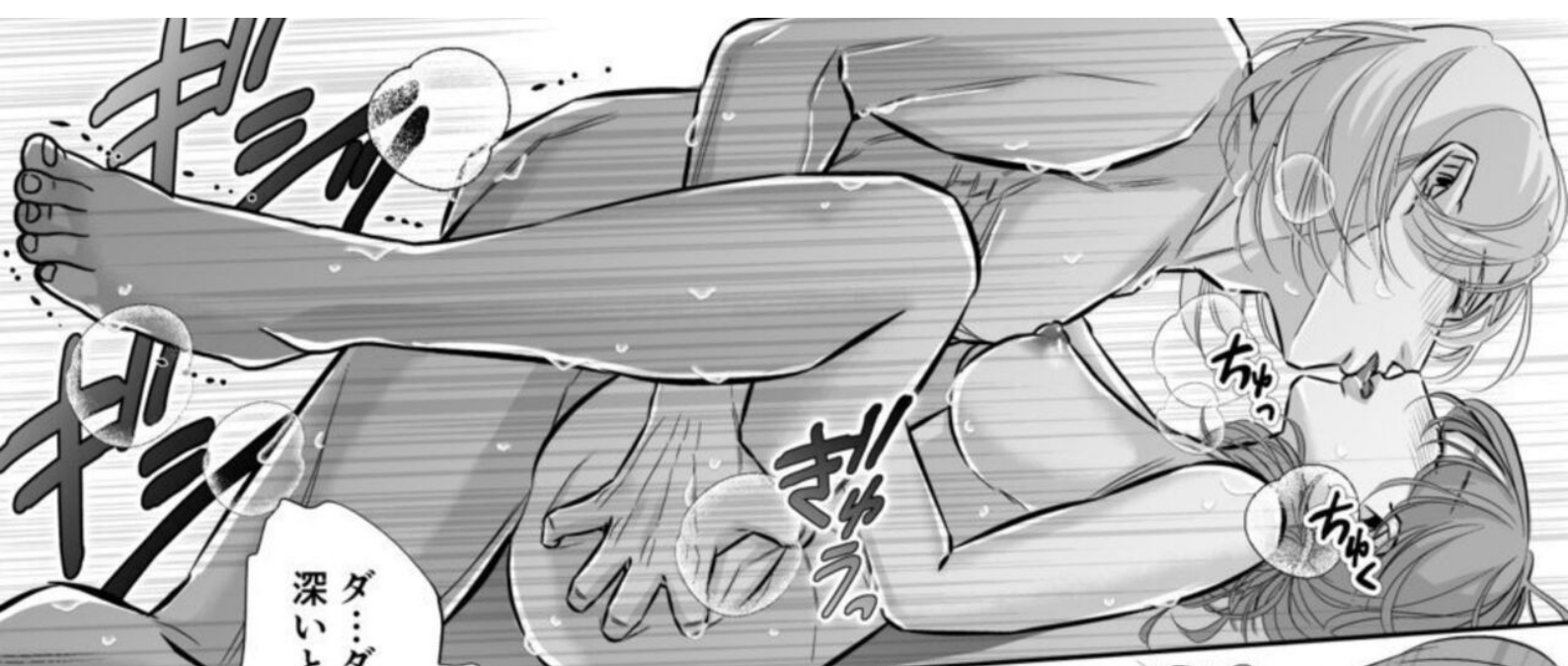


あぁ…
あぁ…
あぁ…
あぁ…

あぁ…
あぁ…
あぁ…



最後の望み
なんだ
頼む、明…



ひっ♡
ダ…ダメ
深いとこ…♡



あっ♡

おっ奥…♡
押し込んじゃ
…っ♡
あ…♡



ん…♡
あ…♡
明く…♡



キッ♡
キッ♡



ゆさゆさ

ゆさゆさ

あーっ

あーっ
もう膣内か
明くんの
いっぱい...



あーあ

鞠子さんの
マンコ...

入んない
...っ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ



俺の形になっちやっただね...

いやあ...

ひ...

ま...

ま...

あっ

あ... あんっ

ぽん

ぽん

ぽん

ん

ふ...

ん

ん...

好きなトコ
いっばい突いて
あげるから
後ろ
向いて...

ん

ん



やあつ
あ
抜けちゃ...♡



ちゃんと精子が
漏れないように
しないと...



あ...♡
だめえっ♡

あ...♡
んう...



一滴も漏らさないように
ちゃんと締めつけておいて

あ
あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ



あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ



あ
あ

子宮の入り口に出すから

あ

あ



はあ...っ
また腔内...
いっばい...

もっと
足開いて...

あ...っ

あ



子宮...
溢れちゃ...っ



やば...
止まんない...っ

ふう...っ

あっ
ああ...っ

あ



もうすぐ
辰彦さん
帰って
きちや...う



ん...
はあ...
出ちゃ...



ああ...
あ
明く...んっ



もう...
無理...ッ
あ
挿れちゃ
ダメ...



一滴も零すな
って
言ったじゃん

ごめんなさ
あ

ひう



あ
明く...
もう...
休ませて...え



あ



あ...あ...あ

言ったのは
鞠子さんでしょ

もっと精子
欲しいって



ん...っ



ふっ...

もっ...

あ...また
ダメなの...
キチャウ...っ

あ...っ
ん...っ



最初より
どんだん敏感に
なってるね

あ...っ

あれ?
鞠子さん
また先に
イッちゃったんだ?



あ...っ



は...っ

は...っ



鞠子さんの
こんな乱れた姿を
見たら...

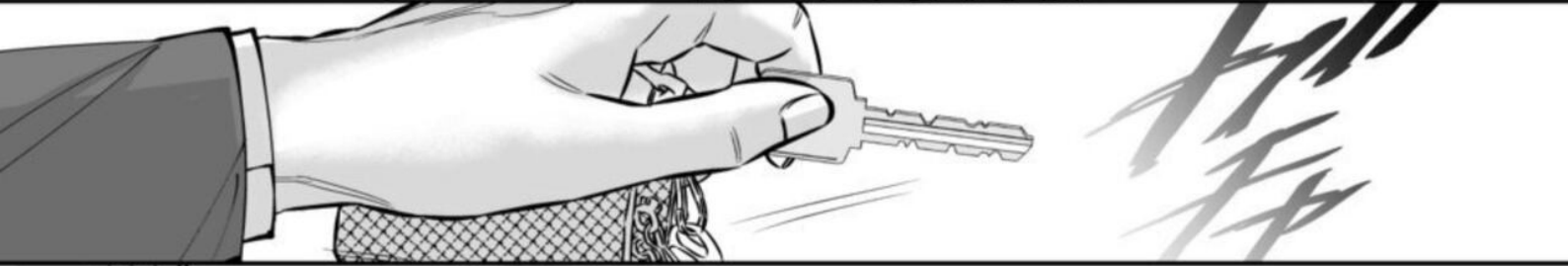
兄さん
離婚したいって
言いだすかもよ？

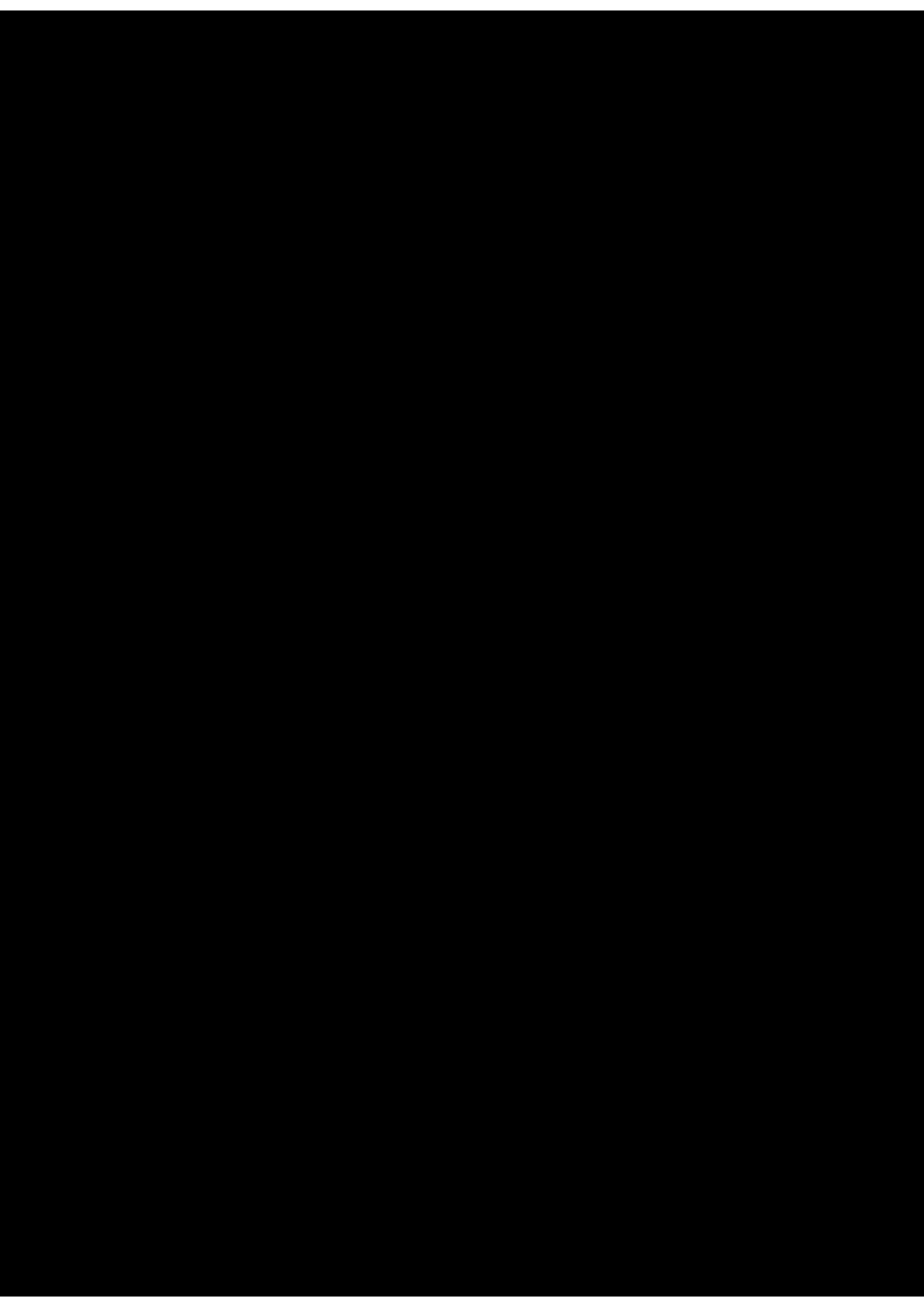














おかえり
兄さん

カチャ



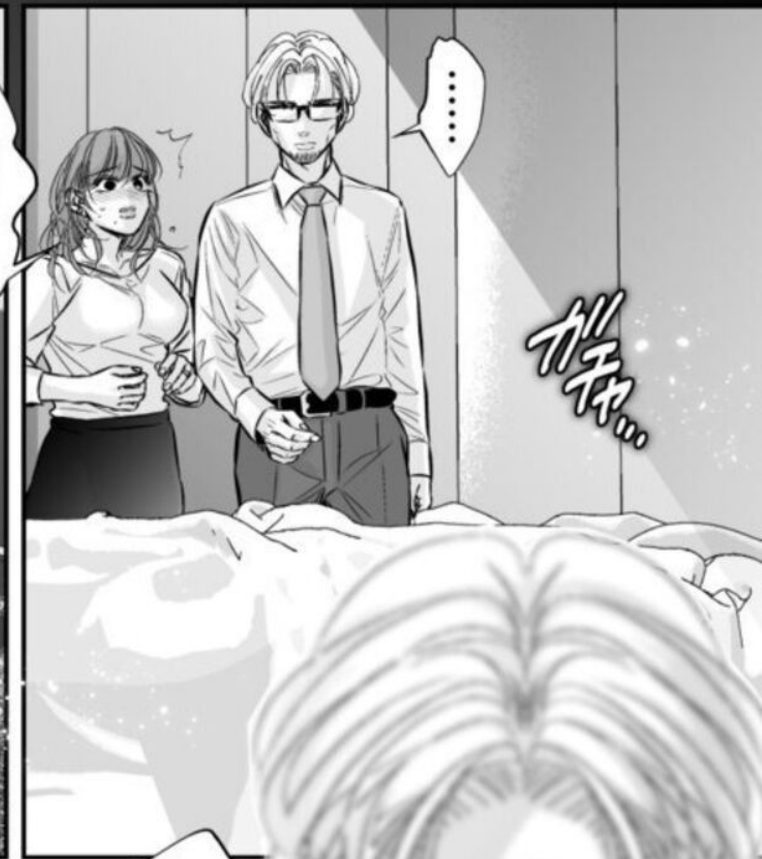
明あ...

お...
おかえりなさい
辰彦さん...っ

カチャカチャ...

ア...







あ
謝らないでくれ
鞠子…っ

なにかも
僕が
悪いんだから…

でも…っ



でも…
僕は絶対に
君と別れないからな

鞠子…っ！

え…

た
辰彦さん…!?

ぐぐぐ

ぐぐぐ



たっ
辰彦さん…!?



あっ
すごい
濡れてる
じゃないか…

あっ
ダメ…
辰彦さん
酔ってるの…!?

いやあ…ツ



ああ…ツ♡
あ…っ

見ちゃ
だめえ…



やだあ…っ
辰彦さん
見ないで
こ
こんなに…っ



あ…っ



なかに
膣内に
出されて...

どれだけ
抱かれたんだ
鞠子...っ

ナカ
掻き出さ
ないでえ...っ

やっ
やめて...っ

た
辰彦さ...んっ

鞠子...!

ふ...

んっ...♡

びびび...

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん



あぁ...っ
ほんっ
ほんっ
ほんっ

いっ
今は
ダメ...ッ
あ...
すっ
すっ
すっ

あぁ
ダメ...
あくんが
いるから...っ
あぁ
すっ
あぁ

あっ
あ...っ
あぁ
ほんっ

あ
ごめ...っ
あぁ
あぁ



愛してる…っ

辰彦さ…っ

絶対に
別れないからな
鞠子…っ!

あっ♡

あ

あ

鞠子お…っ

こ
声…っ

声
聞こえちゃう…っ

あっ
辰彦さん

あっ

だめ…え







辰彦さんも
明くんも
誰もなにも
言いださない…



2人の顔が
全然見れない…

辰彦さんは

ただ血が繋がっている
子供が欲しいから
という理由だけで



兄さん
鞠子さん

明くんと
私が昨日の夜
してしまったことを…

俺は
明日

この家を
出ていくよ

長い休みを
もらいすぎたし
ちようど
向こうの研究室に
呼ばれているんだ

そ、そうか
ずいぶん
急だな…



寂しいな

今日で
鞠子さんの
ご飯食べれるの
最後だから





ホッと
してる...

私
すごく...



ドキ...

もしも
明くんから...



一緒に
アメリカへ来て

そう
言われたら

どうしよう
かと一日中
ずっと考えてた...





かわいそうな
辰彦さん…

んう…



こんなに
中に出しても...

俺のを
上書きできる
わけないのにさ

クチャ...

チュッ...



チュッ...

鞠子さんが
確実に
妊娠できるように

たっぷり
種付けして
あげるからね

おっ...



はあ……っ



どうした
鞠子？

眠れないのか
…？

なんでも
ない……っ

た



鞠子を
抱いてほしいと

明には
僕から
話したんだ



それなのに
自分勝手に
嫉妬して...

酔った勢いで
今朝はあんな
乱暴にして
すまなかった...

愛してる...

辰彦さ...

絶対
別れな
鞠子



昔からずっと
明も鞠子を
好きだったことに
気付いてたのに

明が
アメリカにいる間に
僕は急いで
鞠子に結婚を
申し込んだんだ…

結婚するなら
君しかない

君の両親だって
そう望んでくれて
いるはずだ



あの家の
長男として

小さい頃から
窮屈に生きてきた
僕にとっては

鞠子といれる
時間だけが
癒しで

鞠子が隣にいない、
そんな人生なんて
考えたくなかった



鞠子が
望んでいるものを
全部あげられることが

僕が
君にできる
唯一のことなんだ…



ずるいわ
辰彦さん…

私は最初から
ずっと…
言ってたじゃない…

子供が
出来なくなたって



辰彦さんと
結婚したことを

後悔した日は
無かったのに…




明の例の話
今晚頼む…




…
鞠子さんを

抱いてくれ
って
あの話…?



兄さんらしくない
馬鹿な冗談だろ？


したところで
そんな簡単に
妊娠できる
わけがない…



大体いつも
鞠子さんの気持ちも
ろくに聞かずに


兄さんの理想や
俺たち
家族の都合を

鞠子さんだけに
無理矢理
負担を押し付けて
ばかりじゃないか



鞠子は
優しいから
笑顔でごまかして
我慢していて…

自分の本音を
いつも僕には
言ってくれないんだ



…もし今後
明と鞠子の子供が
出来たとしても

最初の約束通り
明の子供だとは
公言する気はないし

鞠子と僕の
二人の子供として
育てていく

：
そんなこと
言ってます

まだ自分が
鞠子さんに
選んでもらえる側なんて
思ってるんだ？

そもそも
自分で選んだ大切な人と
夫婦でいられるだけで
幸せなはずなのに


どうして
そんなに子供に
こだわるのか
俺には理解できない

大人の都合に
振り回されて
生まれた子供なんて

ツライ未来が
待っているかも
しれないのに：


あ 明……

兄さんは
明日の朝
この家に
帰ってきて



今日の夜は
鞠子さんと


二人きりに
して…




ん
辰彦さん…？

おはよう
鞠子

今日の
朝ごはんは
僕が作るよ



ほんとに？



明はまだ
起きて
いないのか…



明のやつ…
なにも言わずに
出ていくなんて…

緊急の仕事が
入ったので、
今日の午後便で
帰ります。
また連絡します。
明



電話して…

ま
待って
辰彦さん



朝ごはん
作ってくれる
んでしょうか？

…



…電話は
後でも
いいじゃない



うん
楽しみ

今日の午後は
鞠子が
行きたがっていた
展示会行こうか

…ああ
そうだな



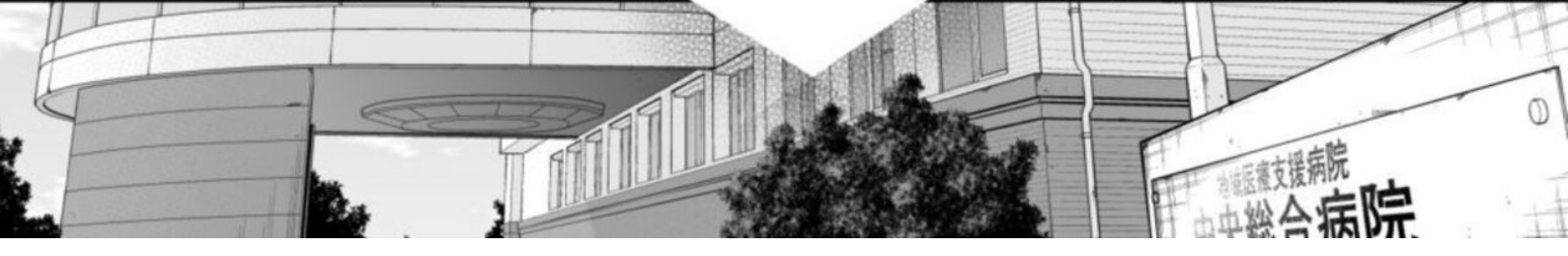
いい感じ!

そうだ…
辰彦さんと
結婚しようと思
えた理由は

まっすぐな愛情を
すぐそばで
感じられることが
幸せだったんだ



二人で過ごす
穏やかな毎日が
続いているけば
それで良かった







最近
吐き気が
酷かったでしょ
だから…

今日の昼…
先生に
診てもらったら

妊娠…
してるって…

カク



ほ…
本当なのか
鞠子…？



ありがとう
鞠子…

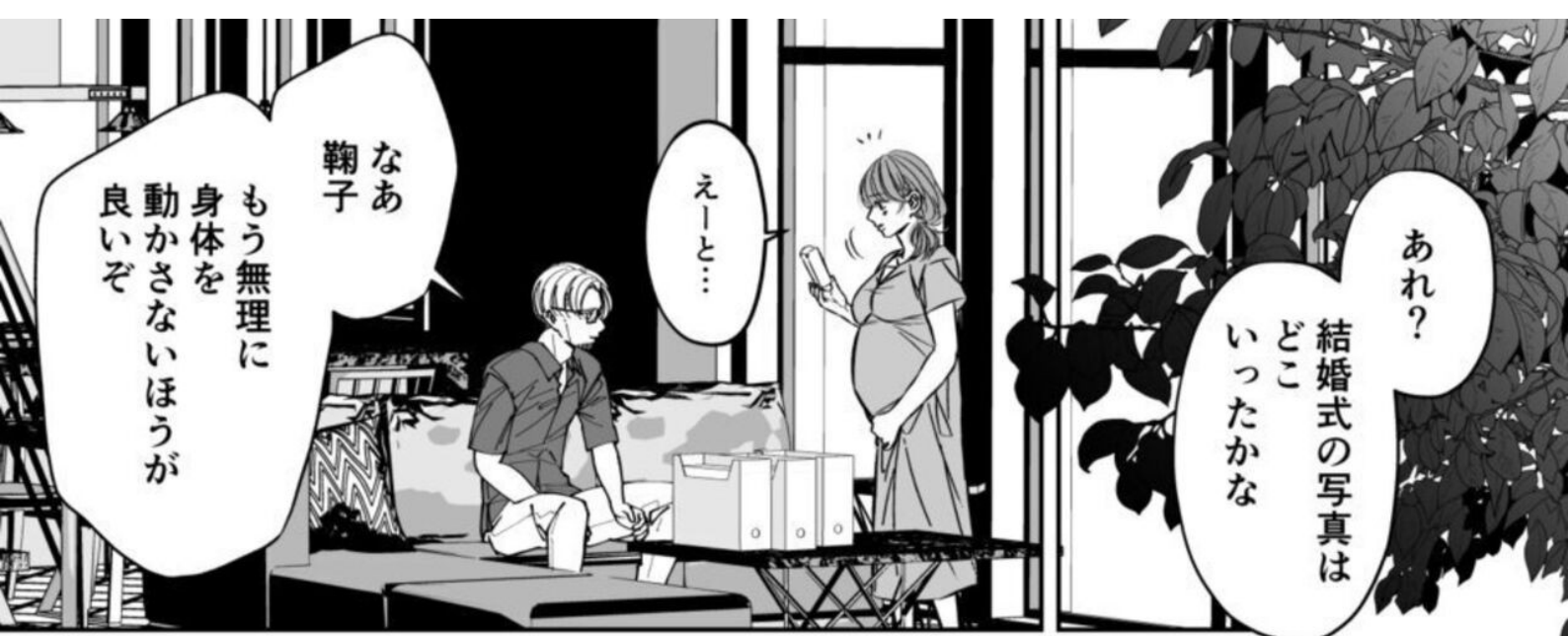
こんなに
嬉しいことは
ないよ…

グ

カク







あれ？

結婚式の写真は
どこ
いったかな

えーと…

なあ
鞠子

もう無理に
身体を
動かさないほうが
良いぞ



お
この写真
懐かしいな

中学生だった明が
撮って
くれたんだっけ



ありがとう
辰彦さん

あのさ
鞠子…

妊娠したことを
明にもそろそろ
伝えないか？



お腹の子と
鞠子の精神が安定するまで
明へ報告はしたくないって
言っていたけど...

それは...

僕はもう
覚悟は
できているよ

.....



明くんと
私の子.....



お腹もだいぶ
大きくなってきて...
自分の気持ちまで
ごまかせなくなってきた...



明くん

こんなところで
また一人で
勉強してるの？

マリちゃん！

姉さんと同級生で
近所に住んでいた
鞠子さんとは

昔からの
家族ぐるみでの
付き合いだった

マリちゃん
やっぱり
教えるの上手いね

これでも一応
両親と同じ
学校の先生
目指してるもん

うーん
集中して
勉強できる場所が
あればねえ…

ねえ
マリちゃん

もう少し
お静かに

あの頃は鞠子さんと
この図書館で
過ごす時間だけが
僕の大切な時間だった

ハッ…



受験勉強はちゃんと
家庭教師や塾とか
通わせてもらったら？

さすがに
私も本格的な
勉強を教えられる
技量も時間もないよ

でも
明くん…



その分
プレッシャーも無くて
気は楽だけどね

ううん
無理だよ…
父さんや母さんは
辰彦兄さん達ばかりで
末の僕には
関心がないんだ



ガクガク!

鞠子ちゃん!

それに
マリちゃんが
隣にいてくれるから
勉強も頑張れるし!

ゴニョゴニョ



あ
辰彦さん

...

ベンの散歩に
行くんだけど
ちよっと息抜きに
一緒に行こうよ



その後
父さんたちと
みんな
夕飯でもどうかな

え
良いん
ですか?

なあ
明も一緒に
行くだろう?

...うん

僕は勉強に
集中したいから
夕飯もあとで
一人で食べるよ





アメリカでも
研究がんばってね
明くん



初めは
家庭教師の真似事
だったけど
初めての生徒が明くん
で
本当に鼻が高いわ！

ここまで
頑張れたのは
全部鞠子さんの
おかげだよ



：鞠子さん
なんて
寂しい呼び方ね？

この歳になって
マリちゃんって
呼ぶ方が
恥ずかしいよ



この歳って：
明くんはまだまだ
若いんだから

私なんて
仕事ばかりしていたら
あつという間に20代も
終わっちゃうわ

あのさ
鞠子さん…



え？



鞠子さんも
一緒に向こうで…



…いや
やっぱり
なんでもない

日本へ
帰ってきたら
また話すから



僕と
結婚してほしい
鞠子ちゃん



そんな…
私たち
お付き合いも
していないのに…

そんなこと
僕たちの間に
いまさ
関係ないだろう

鞠子ちゃんだって
僕の気持ちに
気付いていたはずだ

もしかして
明からなにか
言われたのか…?



結婚するなら
君しかない

君の両親だって
そう望んでくれて
いるはずだ

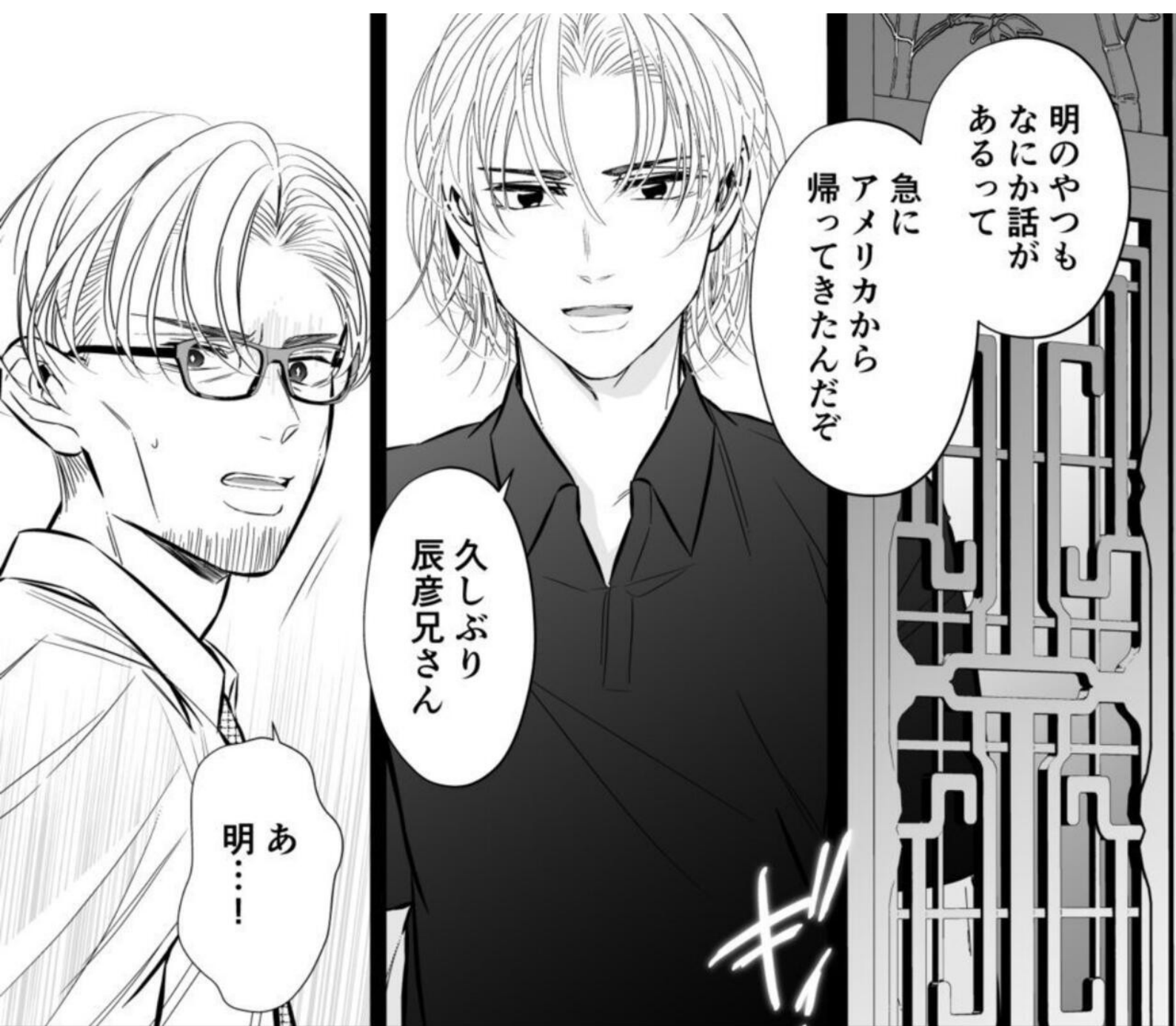


そ
そうじゃ
ないけど…
結婚なんて
そんな急に…



誰よりも
君を幸せにすると
誓うよ、鞠子





明のやつも
なにか話
があるって

急に
アメリカから
帰ってきたんだぞ

久しぶり
辰彦兄さん

あ
明……！！

キーン

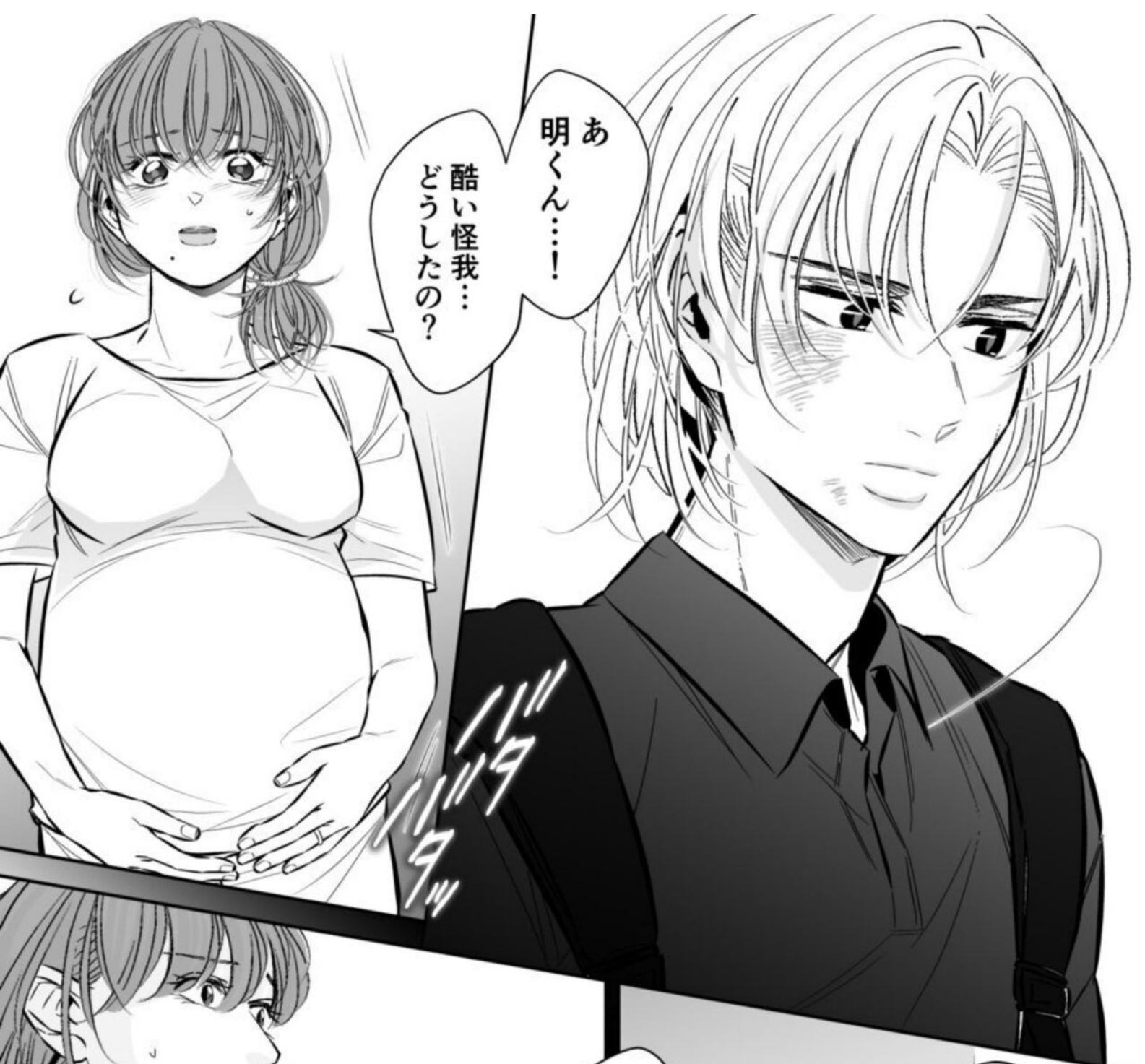


辰彦さん

ごめん
今日は忙しくて
本家に泊まる。

辰彦さん
急に
どうしたの
かしら……？





あ
明くん……!

酷い怪我……
どうしたの?




でもそれって……
なにかに殴られた
痕じゃ……



……ちよつと
転んだだけ

ガッ
ガッ





こんな
大切なこと…

鞠子さんの
口から最初に
聞きたかった…





今日の夜は…
辰彦兄さん
帰ってこないよ

あ…
こんなこと
もうダメ…

はあっ



これで
最後だから
もう一度だけ

鞠子さんに
触りたい…



あ
明く…ん…





こんな風に
触られるの
ひさしぶり…？



兄さんとも
してないんだ…？

ん…
聞かないで…っ







妊娠すると
性欲高まるって
聞くから...

んっ
やあ...っ

あ...♡



ああ...っ♡

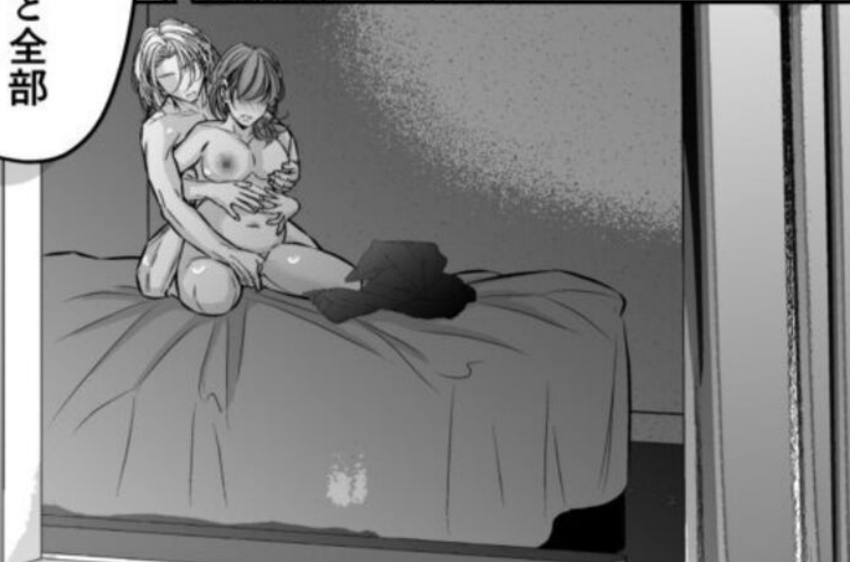
んっ♡

ひっ♡

今日は
シてほしいこと全部
シてあげるからね

鞠子さんが
発散できるように

んっ





あ
明く...ん?

あっ

鞠子さん
上乘って...

ここ
舐められるの
好きだったよね...

あ...
これ...♡

んん

ズ
ズ
ズ



やだあ
言わ
ないでえ...

すっごい
濃い匂い...
クラクラ
するよ...

ん♡

んん

んん

んん

ふう...っ
んん

んん

んん





奥まで
挿れないから...

鞠子さんの
ぜんぶ
感じたい...

あ...っ

ちゅっ

ちゅっ

んう...♡
ちゅ

ちゅ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ

ちゅ





すごい
綺麗だよ
鞠子さん…

はあ…っ♡
あう…♡

ん…っ
あっ♡
ねっ

ずっ…っ
おっ
ん…っ♡
ずっ…っ
ずっ…っ

妊娠したあの夜を
思い出しちゃう…?



こんなこと
ダメだって
わかってるのに…

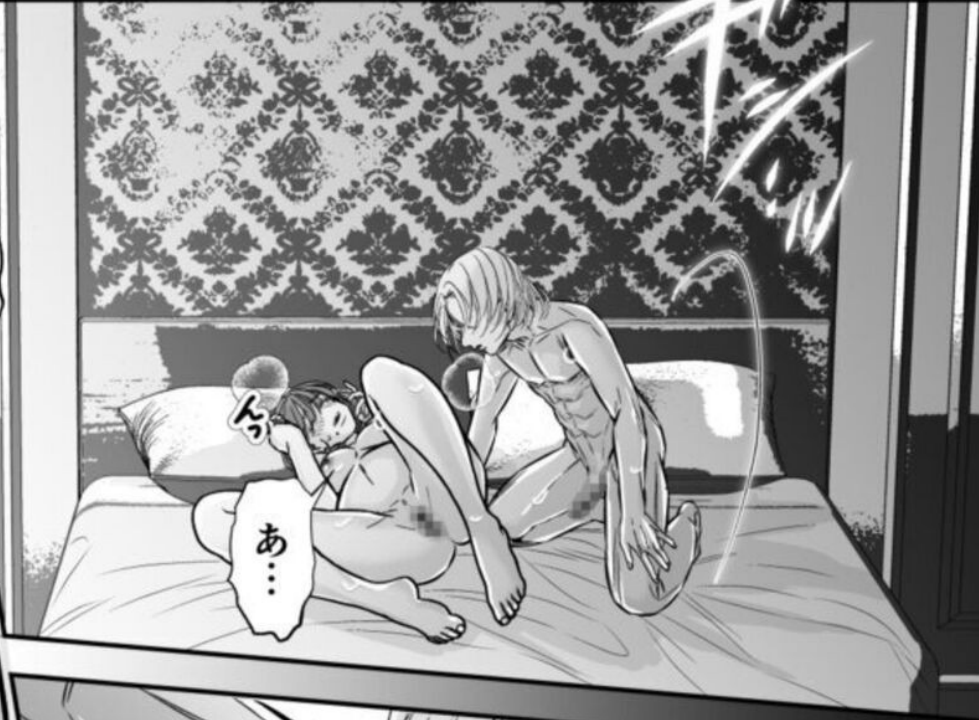
すごく
気持ちイイ…







ん...
明くん...
はあ...
あ...
すけ...





明くん…

ごめん
鞠子さん…

ほっ

君



…この間
日本から
電話があったんだ

うちの父親達に
鞠子さんのお腹の子は
自分の子供じゃないって

本当のことを
言いに行くんだって
辰彦兄さんから…


え…?

ぎゅ




妊娠…
してる…?

鞠子さんが…




ああ…
連絡が遅くなって
すまなかった、明



鞠子は…
日に日に
母親の顔に
なっている


毎日心穏やかに
以前よりも笑顔で
過ごしているよ




全部…全部
僕の望んでいた
光景だ…

なんて幸せで
贅沢な毎日を…

なにもしていない
なにもできない僕だけが…
過ごさせてもらえて
いるんだろうと
最近では考えているんだ



辰彦兄さん…？



どんどん大きくなる
お腹を見て
子供に対する考え方が
今更…
変わったみたいだけど

きつと
また
鞠子さんと

ちゃんと話をせずに
一人で勝手に
暴走してるんだろうな
って思っ
帰ってきたんだ



それで今日
俺達の間
金銭トラブルがあるって
父さんや兄さん達の
前で
嘘をついて暴れて

辰彦兄さんが
子供の話をできないように
話題を逸らしたんだ



そしたら
止めに入った
誰かの拳が
頬に当たるわ、

父さんには
二度と顔を見せるな
って怒られて
散々だったけど

明くんが…



「今日は
家に帰らないから
鞠子と話をしてほしい」
そう言われて来たんだ

辰彦兄さんは
頭を冷やして
冷静に考えるために
ホテルに泊まるから



今更
なにを話せて
感じだよな…

どうして
辰彦さんを
止めてくれたの
…？



明くんは
この子を...

どう

したい...?

どづって...



この子が
家族に
歓迎されないのは

俺が
許さない...

俺が
許さない...



生まれてくる
この子は
寂しい思いをせずに

鞠子さんと兄さんの
愛情をたくさんもらって
必ず幸せになるんだ

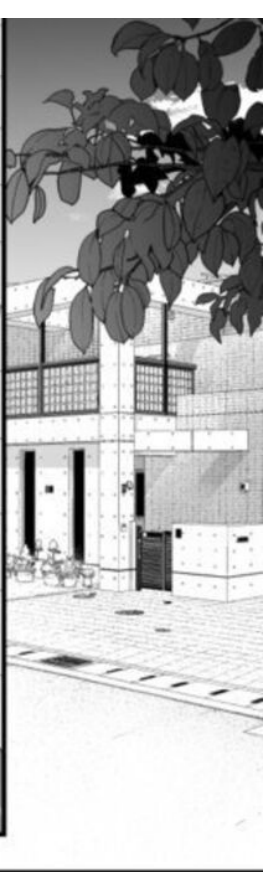



ぎゅ
ぎゅ



明くん…

ありがとう…





お腹の子が無事に
生まれてきてくれることを
みんな
楽しみにしているって…

それと
父さん達がベビーベッドを
プレゼントしてくれるって
言われたよ

早く
この子に
会いたいな



…うん

おきゅん







かわいいねえ

どっちか
っていうと
鞠子さんに
似ているかなあ

ありがとうございます
鞠子…



ええ
辰彦さん



僕たち
家族みんな
で
この子の幸せを
一番に考えよう



もうすぐ
帰ってくる
かなー？



ただいま
鞠子…



来たよ



ひさしぶり
鞠子さん…



明くん
抱っこ
してあげて

え…









鞠子さんのこと
だけじゃなくて
兄さんのことも

俺は
二人のことが
好きだったから

気持ちのやり場が
無くて

ずっと二人が
うらやましくて
酷いことを
言ったりした…

あう…



でも
ごめん…

やっぱり
自分が父親だって
黙って生きるのは

俺には
無理だ…



もうこんな
この子が
愛しいのに

一緒に
いれないのは
すごく苦しい…

ぎゅっ



だから
もう今日限り
この先二度と

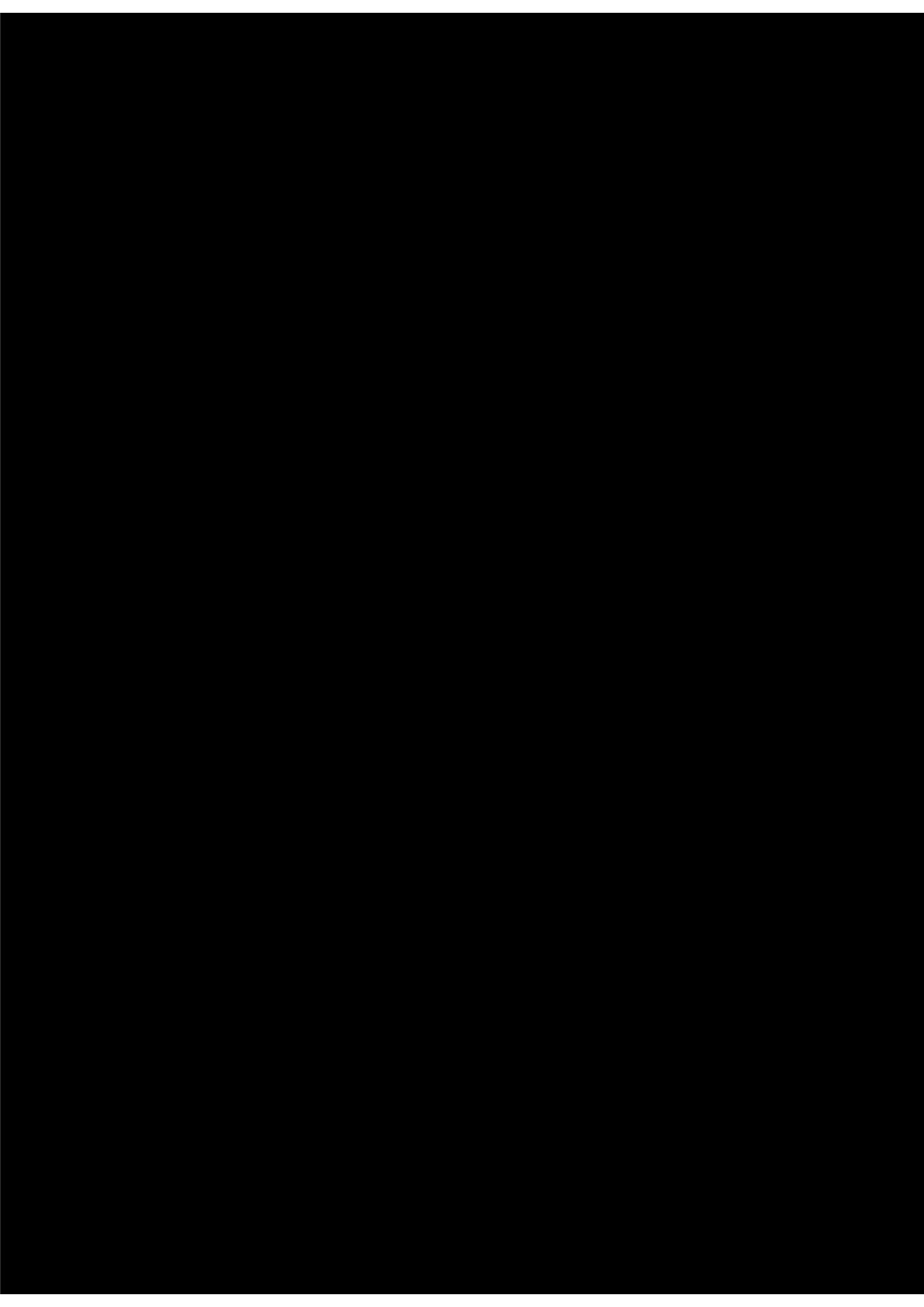
この子にも
鞠子さんたちにも
顔を会わせないから



これから
周りのみんなに
どう伝えていくか

この子を
どんな環境で
育てていくか

三人で
しっかり
話し合って
決めていこう



あれっ？

ママ
聞こえてる？







うん
こっちの
新しい学校は
楽しいかって



えーと
向こうのパパも
言ってたよ…!!

んー、パパが
2人いるのって
やっぱり
言いづらいや

うん…



画面越しに見ると
小さい頃のパパに
似てきたなって
パパが…



いいよなあ
大家族って!



また一緒に
暮らすことになった
養子縁組の子たちにも
会いにきてだって!

今度は
5人で一緒に
暮らすんだって



…やっぱり
兄弟は
ほしかったか？



うーん
僕にはママと
2人のパパが
いるから
じゅうぶんかな！

あとがき

ここまで読んでくださって
ありがとうございました！
描きたかったキャラクターと
思い描いていたラストを
楽しく描けて幸せでした！

また次回作も
読んでくださったら
嬉しいです！

初恋谷



20XX年 辰彦と明の寝家にて